

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710
WEEKLY BULLTIN 竹原ロータリークラブ週報



会長 夜船 正昭
 会長エレクト 久藤 孝仁
 副会長 菅 義尚
 幹事 佐々木 秀明
 副幹事 中川 康子
 会計 田中 幸俊
 S A A 下山 生修

副 S A A 小坂 啓子
 直前会長 木村 安伸
 管理運営 大成 義彦
 会員組織 土居 敏昭
 奉仕 朝比奈 勝也
 広報 宮本 和彦
 R財団 米山 大森

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務局 〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1 おおぎビル102号
 TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651

Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp HP:www5.ocn.ne.jp/~rc-take

例会場 大広苑 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 TEL 0846-22-2970

例会日 毎週木曜日12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

本日のプログラム 9月11日

プレ公式訪問

次回のプログラム 9月18日

創立50周年について

【 2014年9月4日 第2444回例会記録 】

プレ公式訪問

日 時 平成26年9月11日(木)
 会長幹事会 12:00~12:20
 例会 12:30~13:30
 協議会 13:40~14:15
 来訪者 G9ガバナー補佐 森崎正治様
 (広島空港RC)
 " 幹事 三好敏之様
 (広島空港RC)

□ソング:国歌・奉仕の理想

□4つのテスト

幹事報告

幹事 佐々木 秀明

- ・公式訪問でのガバナーへの質問事項を募集します。よろしくお願ひします。
- ・例会終了後、定例理事会を開催します。

会長の時間

会長 夜船 正昭

9月に入り、朝夕大変凌ぎやすくなりましたが、まだまだ残暑は厳しいそうですので健康には十分気を付けて下さい。

さて、8月30日(土)安芸津町で開催された2014年安芸津ふれあい夏祭りの準備に参加された9名の皆様暑い中お疲れ様でした。子育て支援ブースを利用された方がいらして大変喜ばれたそうです。必要としたときにそんな設備が備えてあれば助かります。今までの成果が表れたことだと思います。また佐藤会員より飲み物の提供を受けました。いつも有難うございます。感謝申し上げます。

次に8月23日に開催された地区指導者育成セミナー

で第2680地区パストガバナー三木明氏の基調講演「ロータリーの目的とは」の一部をご紹介します。

ロータリーの目的は、『意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励しこれを育むことにある。』

「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること」「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」。

奉仕の原点は皆様方の心の奥底にある誰かに良いことをしてあげたい、誰かに喜んでもらえたら何か私に出来ることをしたい、それが奉仕の原点である。行き当たりばったりの誰かから言われてする行動ではなくて、心から湧き上がってくる気持ち、これを行動に表現する。これが奉仕活動と言われるものである。

二宮尊徳は素晴らしい日本のロータリアンであると表現している人がいます。二宮尊徳は村の為、農民の為に働いた人であります。尊徳さんが言った言葉に「世の為、人の為に尽くそう、そして田畑を耕す前に先ず心の田畑を耕そう」。土屋元作氏は奉仕の実践をする前に先ず心を磨いて、そして、その奉仕の心を作りなさいと我々に教えて下さいました。もう一人素晴らしいロータリアンがいらっしゃいます。米山梅吉先生は日本に初めてロータリークラブを設立した人です。ロータリークラブは奉仕をするロータリアンの心を育てるところで、例会は人生の道場であると言われました。

ロータリークラブはロータリアンが奉仕の心を磨くところであり、それも一人で磨くのではなく仲間が毎週一回例会に集まってお互いに切磋琢磨するのです。ロータリークラブは、寄付団体でなく、福祉を目的とする慈善団体でもなく、ボランティアを目的とする団体でもありませんが、災害時には救済の手を差し伸べます。救済活動をすることは大切なことでありますし、しなければならないことであります。

人を育てる、道徳を学ぶ人間をつくる。そのことによって世の為、人の為に動いて行こう。世の為、人の為に働こう、これがロータリーであります。ロータリーの例会でお互いの職業について話し、学びあうことが大事である。他の職業について話をしお互いが学びあうことで知らなかった内容や仕組みが学べるだけでなく、新たな職業上のネットワークを築くことが出来ます。まだまだいろいろな言葉を頂いたと思いますが、ご容赦ください。以上、会長の時間とします。

誕生月代表者謝辞

9月記念日を代表して木村会員よりお礼の言葉が述べられました。

誕生月該当者会員卓話



会員 永瀧 英一

先ほどは誕生日のお祝いを頂きまして誠に有難うございました。9月生まれの先輩会員である木村さんや新宅さんにこの場はお譲りしたかったのですが、本日は新米会員への

温かいご指導と受け止め、暫し皆様のお耳を拝借させていただきます。

本日は二部構成でお話しさせていただきます。第一部は、お手元に配布いたしました、最近の三井金属のトピックスのご紹介であります。

第二部は、三井金属竹原製煉所で働いてもらっているすべての人に「どうあってほしいか」管理職には「どうしてほしいか」、所長としての自分は「どうありたいか」と日頃の思いをご報告いたしまして、後日皆様から専門職務に携わるロータリアンとして、「こんな視点が欠けている」とか、「こんな考え方もある」とか、ご指導を頂ければと思っております。

それでは、先ず三井金属の最近のトピックスであります。南米チリに100%日本資本による鉱山開発を致しました。日本にとっては初めての資源開発プロジェクトでございます。このカセロネス鉱山の所在地は、アンデス山脈の標高4,000mに位置しています。そこに2006年鉱山権益を取得致しまし

て、以来4,000億強の投資をし、この開山へこぎつけたというプロジェクトです。この銅鉱山の稼働によりまして、日本国内で消費される銅の約10%が約30年間にわたり保障される鉱山になります。三井金属もいまだにこういう鉱山に投資をしているということでご紹介させて頂きました。因みにこの鉱山で産出される銅鉱石は、佐賀関製錬所と岡山県の玉野製錬所に持っていきまして、ここで銅に加工することになっております。

次に三井金属竹原製煉所で働いてもらっているすべての人に「どうあってほしいか」、管理職には「どうしてほしいか」、所長としての自分は「どうありたいか」といった日頃の思いであります。先ず、働いてもらっているすべての人には「明るく」「楽しく」ということであります。

人は『嬉しいから笑う。悲しいから泣く』のではなく、『笑うから嬉しくなる。泣くから悲しくなる』といったのは19世紀の心理学者ウィリアム・ジェームズです。人は行動を変えることで意識や感情を変えることが可能となるということです。どう行動すれば「明るく」なれるかであります。

「明るく」なるには前を向くこと。前に進もうと努力すること。そうすれば「明るく」なり、「楽しく」なることが出来る。「楽しく」なれば、安全に対しても、品質に対しても、生産に対しても「正しい」判断ができ、正しい仕事につながる。当然、自分の人生に対しても。では、「明るく」なるため、どのように前を向けばよいかであります。「明るく」なるには一人ひとりが「目標」を持ち、毎日、少しずつでも小さなことでもいい、「目標」に向かって「挑戦」をすること。みんな日々の挑戦が積み重なって、生き残っていける事業所になれる。「明るく」「楽しく」みんなて明日の製煉所を作っていこう。こんなことを従業員には話をしています。

次に、管理職には「どうしてほしいか」という思いであります。

三人の石切り工という昔話があります。旅人が、彼らに何をしているのかと尋ねました。

・第一の男は、「これで暮らしを立てているのさ」と答えました。

・第二の男は鎚の打つ手を休めず「国中で一番上手な石切りの仕事をしているのさ」と答えました。

・第三の男は、その眼を輝かせ、空を見上げながら「大聖堂を建てているのさ」と答えました。

竹原製煉所では、金、銀、銅、鉛といった素材を作っています。石切り工は石を切り出すのが仕事で、大聖堂の建築現場にはいません。製煉所も同じで素材を作る現場にいただけで、私たちが便利に使う洗濯機や自動車や携帯電話の組み立て現場にはいません。

しかし、管理職には現場で行われている一つひとつの作業がどういう意味を持ち、出荷された素材

が最終的にどのような商品として組み立てられるのかを理解し、第三の男のように、働いている一人ひとりに、それぞれが担当している仕事の先の先では、世の中の何かに繋がっているのかということの説明し、みんなの仕事の方向を定め、効率よく生産活動を取りすすめられる統率力を高めていってほしいと思っています。

最後に自分は「どうありたいか」です。三人の石切り工の話には出てこない、第四の男を目指したいと思っています。

旅人である自分が、第四の石切り工である自分に質問をしました。何をしているのか。第四の男は、「多くの人のよりどころになる大聖堂を建てているのさ」と。製煉所の中で行われている一つの仕事が、広く社会や地域の人々の生活の質にどれだけ結び付いているか、そして、これからの世の中の要請にどう答えていくかといったことを語り、製煉所で働く人たちのモチベーションを高めて、誰もが仕事に生きがいを持てる事業所作りを進めていきたいと思っています。

本日は誕生月のお祝いをして頂き、有難うございました。

理事会報告（9月）

□日 時 平成26年9月4日（木）

□場 所 大広苑

□出席者 10名

□議 題

①職場例会の件 承認

日時 平成26年10月9日（木）

場所 広島防災拠点施設及び広島空港

②第7回ぶちええ竹原まつり出展の件 承認

ポリオ撲滅募金及びバザー

③安芸津町敬老会の件 御祝3万円 承認

④納涼例会決算の件 承認

⑤事務局勤務条件の件 承認

出席報告

総員	出席	欠席	メイク	免除	出席率
37名	26名	6名	2名	3名	83.78%